

イデックスオイルレポート ~For a month~

株式会社 新出光

日付	補助金	変動幅	変動幅
4/1	48.1	+10.0	+10.0
4/2~4/8	49.8	+1.5	+1.5
4/9~4/15	48.8	+1.5	+1.5
4/16~4/22	35.5	-10.5	-9.5
4/23~4/29	30.9	-4.0	-4.0
4/30	39.7	+9.0	+8.0

【単位:円/KL】

メニュー価格推移	0.5HPP	ENEOS LS船用燃料油基準価格
	2026年1-3月C重油決定価格	81,920 【81,920(メニュー)+ 3,510(プレミアム)】
	2026年4-6月C重油仮価格	131,970 【131,970(メニュー)+ 6,380(プレミアム)】
	2026年4-6月C重油決定価格	
決定価格 前期比		

【単位:円/KL】

内航燃料油価格推移	適合C重油	A重油
	2026年1-3月決定価格	90,830
	2026年4-6月仮価格	
	2026年4-6月決定価格	
決定価格 前期比		

<1ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	110	103
Average	98	92
Low	80	75

CIF価格推移	年/月	9桁速報	原油CIF価格 円/kl	通関CIF ドル/bbl	為替レート 円/ドル	原油CIF価格 前月比
	26/3	9桁速報	67,695	68.73	156.59	3,349
	26/4	最終予測	108,402	108.20	159.28	40,707
	26/5	展望	115,682	116.40	158.00	7,280
	26/6	展望	108,909	110.99	156.00	-6,773

<3ヶ月価格見通し>

	Brent	WTI
High	95	90
Average	84	80
Low	70	67

【5月価格変動要因】

1.中東情勢の緊迫化と供給リスクの深刻化

イランが米国の覚書案を拒否し、ホルムズ海峡の封鎖と軍事拠点の破壊が継続しています。世界の原油供給の約20%が途絶し、中長期的な施設損傷も含め、戦後最大級の供給消滅リスクに直面しています。

2.エネルギー価格の急騰と経済への甚大な影響

原油先物は一時105ドル台へ反発し、国内のガソリン価格も過去最高値を更新しました。円安の影響も加わり、物流業界への打撃や「石油製品の配給制」導入の議論など、国民生活に深刻な影響が出ています。

3.複雑な国際情勢と不透明な停戦へのハードル

米中選挙を控えた各国の思惑に加え、UAEのOPEC脱退による調整力低下など、不安定要因が山積しています。停戦には核物質の管理等の高い条件があり、合意後も供給能力の即時回復は困難な見通しです。